

# 平成27年度 食育・地産地消推進に関する取組み

## 1 食育リーダーの育成

地域、団体が抱える食育や地産地消にかかる課題に対応していく人材育成と食育の普及を目指し、「ふくい食育・地産地消ボランティア」と「ふくいの食育・地産地消コーディネーター」を一本化し、「ふくいの食育リーダー」認定制度を創設、平成26年度～27年度で165名を認定した。

### ●「ふくいの食育リーダー」を一般公募

ふくい食育・地産地消ボランティア、ふくいの食育・地産地消コーディネーター、ふくいの食育・地産地消応援団、その他関係団体等への案内

### ●認定講習会の実施

時期	期間	主な内容（講師等）※
第1期	平成26年11月～ 平成27年3月	○全体講習会 ・講演会「食育の基本を伝える」 講師：服部栄養専門学校 校長 服部幸應氏 ・演習「人に伝える技術～食農の力を伝える」 講師：学習院女子大学教授 品川 明氏 ○専門講習会（4コマから選択制） ・乳幼児とその親への接し方と食育 講師：小浜市 NPO 法人わくわくくらぶ 代表 芝 美代子氏
第2期	平成27年6月～ 平成27年8月	○全体講習会 ・講演会「食育の基本を伝える」 講師：服部栄養専門学校 校長 服部幸應氏 ・演習「人に伝える技術～食農の力を伝える」 講師：学習院女子大学教授 品川 明氏 ほか ○専門講習会（4コマから選択制） ・働き盛りの男性による「家族を支える食育」 講師：株式会社ビストロパパ主宰 パパ料理研究家 滝村雅晴氏 ほか

※認定講習会の詳細は資料1-2参照

### ●認定講習会内容に関する理解度を測る「効果測定」及び「審査」の実施

### ●認定証交付式の実施 平成27年度5月1日（第1期）、11月9日（第2期）

### ●活動フォローアップ研修会

平成28年2月15日 講演会 講師 分とく山総料理長 野崎洋光氏

平成28年2月27日 午前（活動交流会） 講師 学習院女子大学教授 品川明氏

午後（講義） 講師 FCN株式会社 椎名伸江氏

●食育リーダーの活動促進

- ・「ふくいの食育リーダー」認定リストを福井県HP上にアップしPR
- ・「ライフステージに応じた食育推進事業（食育出前講座）」の活用促進
- ・天皇の料理番－秋山徳蔵 料理塾の開催
  - 1回目 11月12日 福井市地域交流プラザ ふくいの食育リーダー 池田雅直氏
  - 2回目 1月16日 越前市福祉健康センター ふくいの食育リーダー 出倉弘子氏
- ・ふくいの春を味わう「ふく囲・春鍋」と食育あそび企画の実施
  - 平成28年3月13日 西武福井店 ふくいの食育リーダー 野路直美氏ほか
  - 福井県学校栄養士研究会所属の食育リーダー

2 世代に対応した食育の推進（ライフステージに応じた食育推進事業の活用）

- 未就学児と親子を対象とした「地域の食文化体験」を、福井市内公民館で実施
- 小学校を中心とした農業体験を、JA福井県中央会などが実施  
(福井市、坂井市、越前町、越前市、小浜市の小中学校35校95学級で実施)
- 小・中学生を対象とした「味覚（基本五味）を学ぶ授業」については、6市町で実施  
(福井市、大野市、鯖江市、越前町、若狭町、おおい町の53校125学級で実施)
- 高校生を対象にした「食材を知る授業」は、主に家庭科教諭により、実施  
(科技高、奥越明成高、坂井高、丹南高、大野高、奥越特支校の6校15学級で実施)
- 高校生・大学生等が主体的に実施する「食育クラブ・サークル」では、5サークルで実施  
科技高・啓新高（そばPR体験活動）  
福井南高（地場産品を活用したクッキング教室）  
仁愛大（砂糖等の知識啓発PR）  
県美容製菓専修学校（甘藷を活用したスイーツ開発、普及）
- 認定された「ふくいの食育リーダー」を活用し実施された「食育出前講座」は、10団体  
坂井市食育市民ネットワーク、福井市日之出公民館、ふくい・くらしの研究所、  
永平寺町御領小育友会ほか
- スポーツをする子ども達と保護者、指導者を対象とした「スポーツ食育」講習会の実施

月日・場所	対象・参加人数	内容
平成27年2月 仁愛大学	競技スポーツをする小中学生 保護者、指導者含む 仁愛大学学生 食育リーダー申請者 約200名	ふくいの食育ワークショップ テーマ：スポーツと食の大切な関係 講師：女子栄養大学教授 上西一弘氏 内容：講義とグループワーク
平成27年8月 福井県立大学	競技スポーツをする中高生 (強化指定選手を中心) 保護者、指導者含む 食育リーダー申請者 約500名	女子栄養大学主催スポーツ栄養セミナー テーマ：競技スポーツをする中高生の 食生活 講師：女子栄養大学教授 上西一弘氏

### 3 地場産学校給食の推進 (和食給食への地場産食材提供事業の活用)

- 11月24日「和食の日」における「地場産100%和食給食」の取組み実施
  - 9月11日：学校栄養教諭対象説明会
  - 10月 1日：市町担当者対象説明会
  - 10月～ : 食材の確保について直売所等、生産者との調整を実施
  - 11月24日：○県内公立全小・中学校で実施
    - 和食特別授業の実施
    - 場所 福井市和田小学校
    - 内容 3種の出汁を使った授業
    - 講師 京都料亭「菊乃井」村田吉弘氏
- 地場産給食推進会議  
地場産食材を用いたメニュー開発や使用率向上に向けた対策会議を実施
- 供給体制の整備—保冷庫、コンテナ整備  
農産物直売所「きららの丘」  
秋作ジャガイモなど、学校給食用食材の作付拡大を図っており、保管のため整備・導入
- 学校給食畑の実施  
福井市2校、鯖江市5校で実施  
カンショ・ブロッコリー・ダイコン等の圃場で体験学習の実施
- 和食給食（メニュー）の導入  
現在7市町で実施（坂井市、あわら市、越前市、鯖江市、美浜町、若狭町、おおい町）

#### ◎平成27年度の使用率実績（調査結果状況）

27年度合計	地場産学校給食実施校数	280校（全校達成）
	地場産食材使用率（重量ベース）	43.5%（過去最高）
	地場産食材使用品目数	26.9品目
6月調査結果	地場産学校給食実施校数	280校（全校達成）
	地場産食材使用率（重量ベース）	37.7%（6月期過去最高）
	地場産食材使用品目数	25.0品目
11月調査結果	地場産学校給食実施校数	280校（全校達成）
	地場産食材使用率（重量ベース）	49.3%（過去最高）
	地場産食材使用品目数	28.7品目

#### 4 野菜食（地産地消）と共食推進を目的とした「ふく囲鍋（ふくいなべ）」の普及

●ふくいの食材を味わう鍋料理レシピの作成（平成26年2月 福井県栄養士会作成）

●主な啓発運動

期間	場所	内容
平成26年6月～8月	県内量販店（ハニー、ママーストア等）農産物直売所（喜ね舎等）	越のルビーを使ったトマト鍋、共食メニューの紹介と併せて、「第2次ふくいの食育・地産地消推進計画」のPRを実施
平成26年9月	ハーツ志比口店、武生店	キッチンスペースを活用し、越のルビー等地場野菜を使った食育メニューをPR
ふくいの食材を味わう鍋料理のキャッチフレーズ → ふく囲鍋（ふくいなべ）		
平成26年10月～12月	福井放送株式会社食堂 県内量販店（平和堂、アピタ等） 県内飲食店、公民館等 西武福井店 県庁食堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大和田げんき祭にて「ふく囲鍋」提供</li> <li>・「ふく囲鍋」レシピを紹介し啓発</li> <li>・ふくい味の祭典において「ふく囲鍋」の提供</li> <li>・「ふく囲鍋」等食育メニューの活用</li> <li>・11月24日「和食の日」に「ふく囲鍋」のふるまいによる啓発</li> <li>・毎週金曜日に「ふく囲鍋」メニュー提供</li> </ul>
平成27年11月	県内量販店、飲食店等	・ふくい味の週間において、協賛企業と共働でふく囲鍋レシピの作成、配布を通し啓発
平成27年12月～ 平成28年3月	県庁食堂	・毎週金曜日に「ふく囲鍋」メニューの提供
平成28年3月	西武福井店	・春の地場食材を使った「ふく囲鍋」の提供と、食育あそびを通した啓発

#### 5 米消費拡大と朝ご飯推進を目的とした「ふくい朝ごはん運動」の実施

●JA 中央会との共働で「ふくい朝ごはんキャンペーン」を展開

●主な啓発活動

期間	場所	内容
平成27年6月～7月	西武福井店  県内量販店、農産物直売所等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくい朝ごはんレシピのPR</li> <li>・朝ごはん摂取の効果啓発</li> <li>・ふくいの食育活動PR</li> <li>・その他、「天皇の料理番」秋山徳蔵PR（TBSドラマ：天皇の料理番）</li> <li>・朝ごはん充実コーナーの設置</li> <li>・魚捌き講習の実施など独自の食育講座の実施</li> </ul>
平成27年7月	福井大学（文京） 福井県立大学（福井）	県産コシヒカリを主食に、地場食材を活用した朝ごはんメニューの提供

平成27年11月	県内量販店（ハニー、ヤササキ、ハーツ等）  福井大学（文京） 福井県産業会館	ふくい味の週間において ・店舗内に朝ごはん充実コーナーを設置 協賛企業と共働作成「朝ごはんレシピ」を配布 ・県産コシヒカリを使った「ご飯」の提供 ふくい味の祭典において ・JA女性組織協議会による「ふくい朝ごはん」メニューの提供 ・仁愛大学学生による「自分の朝ごはん」チェックコーナーの運営
平成27年12月～	県内全域	福井パールライスのTV-CM オンエア 「ふく囲鍋」で「ふくいを食べよう！」

## 6 「ふくい 味の週間」「ふくい 味の祭典」の展開（平成27年度実績）

### ● 「ふくい 味の週間」期間の取組み（11月15日～22日）

#### ◎ 福井の食を通じた「和食」の普及推進

10月18日 和食シンポジウムの開催

11月 9日 ふくい和食フォーラムの開催

#### ◎ 福井の食の偉人PR

6月～7月 ふくいの食育と「天皇の料理番の世界 - 秋山徳蔵」展の開催

11月16日 天皇の料理番「秋山徳蔵」フォーラムの開催

その他、福井の食の偉人（石塚左玄・秋山徳蔵）ポスターによるPR

#### ◎ 「ふくい健幸美食」認証メニューの提供協力店のPR

平成27年度時点での協力店舗数

・飲食店版認証メニューの提供店舗 102店舗

・惣菜版認証メニューの提供店舗 122店舗

#### ◎ 「おいしいふくいの食べきりの日」協力店のPR（8月以降実施）

・食べきりサービス実施飲食店舗 33店舗

・食べきりの日啓発協力 食品販売店舗 69店舗

### ● 「ふくい 味の祭典」の取組み（11月21日・22日）※

◎ 天皇の料理番クッキングショー ゲスト：料理研究家 脇雅世氏

◎ 天皇の料理番「秋山徳蔵」の特別展示

◎ ふくい朝ごはんソングお披露目ステージ

◎ キッチンカーでの「ふくい朝ごはんメニュー」のふるまい

◎ 飲食コーナーでの食育ルールの啓発

◎ その他、食育リーダー等による食育体験コーナーの設置

※ふくい新そばまつり、北陸DC「北陸3県食の祭典」、「福井技の祭典」との共同開催となり、来場者数は2日間で過去最高の5万人となった。

●第9回全国高校生食育王選手権大会の取組み（11月22日）※2

◎予選大会の実施

9月24日（木）25日（金） 16:00～18:00

同一高校の3名1組のチームが、インターネット上の予選サイトにアクセス、40問の食育クイズに回答する方式で、全10チームを選抜

結果、2日間で全国38都道府県309チームのエントリー数は過去最多

【参考】平成25年度実績 36都道府県 244チーム  
平成26年度実績 39都道府県 280チーム  
本県 奥越明成高等学校チームが「第8代 食育王」に輝く

◎決勝大会の実施

11月22日（日） 福井県産業会館 キッチンスタジアム

競技1：4択・体感クイズ 10題

競技2：選食力実技チャレンジ（テーマ 油揚げのおいしい食べ方レシピ対決）

競技3：「食の自立へ向けた僕達の朝ごはん」プレゼンテーションと実技

第9代食育王（石塚左玄賞） 長崎県 向陽高等学校チーム

本県からの決勝参加チーム 奥越明成高等学校、若狭東高等学校

※2 今年度から新たに「石塚左玄賞」、「秋山徳蔵賞」を授与

●その他の取組み

○ふるさと知事ネットワーク直売所交流活動

開催時期	県内交流県フェア	主な販売品目	県外福井県フェア	主な販売品目
6/27～7/5	山形県	福井梅	山形県	さくらんぼ
11/7～11/15	石川県	花らっきょう	石川県	加賀野菜
11/7～11/15	高知県	花らっきょう	高知県	ゆず加工品
1/23～1/31	奈良県	花らっきょう	奈良県	あすかるビー
3月	熊本県		熊本県	

○県庁食堂での「ふくい食育・地産地消ランチ」の提供

ランチ名	実施期間	概要
女子栄養大学ランチ	11月16日（月）～20日（金）	女子栄養大学が発行している「学食メニュー集」をもとに健康テーマを設定し、1週間分のランチメニュー（主食、主菜、副菜、汁およびデザート）を作成、提供する。
仁愛大学ランチ	12月14日（月）～18日（金）	福井県産品使用を主体に、栄養バランス等を考慮し、福井の伝統的食文化に基づいたランチメニューを仁愛大学の学生が考案し「仁愛大学ランチ」として提供する。
ふく囲鍋ランチ	12月4日（金）～3月4日（金）の毎週金曜日	野菜食と共食をすすめる「ふく囲鍋」のレシピを参考に、12月4日（金）～翌年3月4日（金）までの毎週金曜日に「ふく囲鍋ランチ」の提供を行う。